

編集後記

本特集のテーマはこれまで何度か取り上げたことがある。本号では新たな切り口でこの問題を議論してもらった。

近年のCKD-MBD概念の導入により治療は格段の進歩を遂げた。一方、診断について退歩もみられた。その最大のものは骨生検が廃れてしまったことである。骨病変は生命予後のみならず、QOLにまで影響の及ぶ治療のゴールである。骨生検の結果として得られた情報は、直接治療方針に反映されていた。現在は生化学骨マーカーで代用しているが、不十分さは否めない。

治療に関しては大きな進歩を遂げた。活性型ビタミンD製剤に次いで、たくさんのリン低下薬が開発され、透析患者のカルシウム・リン管理は

容易になり、カルシウム・リン目標値の達成率は7割を超えるようになった。最近ではポリファーマシーの弊害が指摘されるほどである。

しかし残念ながら、臨床の現場ではこの成果が生かされていない。医師・看護師が患者にリン制限を強要し、また患者は過去の指導に従う。結果的に低たんぱく食から低栄養に陥っている。また、近年いわれているフレイルの遠因と指摘されている。

各執筆者にはそれぞれの立場からお書きいただいた。医師、看護師、栄養士の皆様に、日々の臨床の参考にしていただけることを願っている。

(秋葉 隆)

2020年(Vol. 36)特集のご案内

No.① 透析患者の感覚器障害

No.② 透析液・透析関連排水の諸問題

No.③ 腎代替療法と Shared Decision Making

No.④ 世間の荒波にもまれるCKD-MBD治療

No. 5 近未来の透析医療

No. 6 透析患者の脳血管障害

(既刊は○)

臨牀透析® Vol.36 No.4

© 2020年4月10日発行
定価：(本体2,600円+税)

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <http://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2020, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY®<出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所/株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 電話(03)3814-8541